

9月19日(日)  
から  
25日(土)は

# 「認知症を理解し一緒に歩む県民週間」です!

認知症の方々やその家族にとってやさしい地域づくりを一緒に進めていきましょう。

## 認知症とは?

さまざまな原因によって、認知機能が低下し、日常生活に支障が出ている状態のことで、高齢者だけでなく、若くても発症することがあります。

早期に気づき、初期の段階で診断を受け、適切な治療を開始することが重要です。

認知症の人は、今後も増加することが見込まれています。

## 認知症の方への接し方

認知症の方は理解力が落ちているものの、感情面はとても繊細です。認知症を正しく理解して、さりげなく自然でやさしいサポートをすることが大切です。

## 対応の心得 3つの「ない」

〈驚かせない!〉



〈急がせない!〉



〈自尊心を傷つけない!〉



- ・声かけは1人で
- ・後ろから声をかけない
- ・おだやかな話し方で

- ・まずは見守る
- ・余裕を持って対応

- ・やさしい口調で
- ・相手の言葉に耳を傾けて

※「認知症サポーター養成講座標準教材」より

## 全国の認知症高齢者数(推計)

2012年  
約462万人  
高齢者  
約7人に1人



2025年  
約700万人  
高齢者  
約5人に1人

(例)	加齢によるもの忘れ	認知症によるもの忘れ
体験したこと	一部を忘れる 例)朝ごはんのメニューを忘れる	すべてを忘れていて 例)朝ごはんを食べたこと自体を忘れる
もの忘れの自覚	ある	ない
探し物に対して	(自分で)努力して 見つけようとする	誰かが盗ったなどと、 他人のせいにする ことがある

※「政府広報オンライン」より

## 「認知症かな?」と思ったら相談窓口へ

### 【相談窓口】

- お近くの地域包括支援センター  
または
- もの忘れの相談ができる医師
- 認知症疾患医療センター
- 認知症の人と家族の会 鹿児島支部



窓口詳細  
(電話番号等)  
はこちら▶



問い合わせ先 県庁高齢者生き生き推進課 ☎099-286-2694

# ヘルプマークをご存知ですか?

ヘルプマークを見かけたら、思いやりのある行動をお願いします。

## ヘルプマークとは?

外見では、援助等が必要なことが分からない方々が、周りの人に支援が必要であることを知らせ、障害等の特性に応じた支援を受けやすくするためのマークです。

### 〈配布の対象となる方〉

- ① 義足や人工関節を使用している方
- ② 内部障害や難病の方
- ③ 知的・精神障害の方
- ④ 認知症・妊娠初期の方 など



### ヘルプマーク〈ストラップ型〉



カバン等に掲示して、支援が必要なことを伝える。

### ヘルプカード



### 〈配布窓口〉

- ・市町村
- ・ハートピアかごしま
- ・県地域振興局・支庁・事務所
- ・県庁障害者支援室

## こんな時に使います!

### 〈手助けがほしいとき〉

- ・電車やバスの中  
など

### 〈緊急のとき〉

- ・道に迷ったとき
- ・パニックになったとき  
など

### 〈災害のとき〉

- ・避難するとき
- ・避難生活のとき  
など



## ヘルプマークを見かけたら...

「どうしましたか?」「何かお困りですか?」と声をかけるなど、あなたのできる範囲での手助けをお願いします。

問い合わせ先 県庁障害者支援室 ☎099-286-2746